

かものがわデルタフェスティバル開催：取材のご案内

「養正」と「左京区」の多文化が集まる祭

養正市営住宅の再生計画が進む中、暮らしや跡地の課題を住民同士で話し合う一歩として、まずは住民同士が集まる機会を作るために始まった「かものがわデルタフェスティバル」が今年で4回目の開催を迎えます。9月15日(日)のメインイベントでは、多文化共生をテーマに、地元の小・中学生・大学生から、大人たち、さらには多国籍住民に出演いただき、より一層の交流促進を目指します。

京阪出町柳駅の北東に建つ養正市営団地の解体が進んでいます。解体後の暮らしや跡地の活用といった課題があがる一方で、住民の意見をまとめる自治会が無いのが現状です。そうした中、まずは住民同士が集まる機会を作ろうと「かものがわデルタフェスティバル」は始まりました。養正地域で長年途絶えていた江州音頭(盆踊り)を復活する形で2017年から開催された「ようせい夏まつり」を引き継ぎつつ、多国籍住民が多く住む地域の特色も踏まえて、「多文化共生」をテーマに据えたお祭りです。地域外からも毎年たくさんの方に来場いただき、2023年の来場者は800名を超えました。



お祭りで生まれた交流を軸に、地域の課題を話し合う場「未来のまちづくりミーティング」を定期的に開催しています。2023年5月にはそれまでの意見をひとつにまとめ、『意見書』として京都市に提出しました。またこの流れから、「養正学区まちづくり協議会設立準備会」が新しく組織され、地域の基盤となる組織が立ちあがろうとしています。

4回目を迎える今年のかものがわデルタフェスティバルでは、重ねてきた関係性を活かしつつ、世代・国籍という壁を超えて住民同士のより一層の交流を目指します。関連企画が9月7日(土)から始まり、最終日の9月15日(日)にはメインイベント「多文化まつり」を開催します。養正小学校・高野中学校・田中神輿会・六斎念仏踊り(国指定重要無形文化財)といった養正の文化をはじめ、左京区で活動するフォークグループ・学生劇団・ダンスカンパニー、ブラジルやインドネシアにルーツを持つ多国籍住民にも出演いただき、最後には全員で輪になって江州音頭を踊ります。会場には多国籍屋台も並び、京都に居ながらにしてさまざまな文化に触れ合えるお祭りです。

<開催概要>

日程：9月7日(土)～9月15日(日)

*9月15日(日) 15～21時に「多文化まつり」を開催

会場：希望の広場(養正児童公園)、左京西部ふれあいサロン、かものがわデルタ

<お問い合わせ先>

かものがわデルタフェスティバル実行委員会

TEL：075-791-1836 FAX：075-712-0138

E-mail：kamodelfes@gmail.com

<https://deltafes.com/>